

# 「ゆとり」

YUTORI

## 思い熱き“再生請負人”②

——京都市左京区にある日本庭園「何有荘」も「再生」させたのですね

川井 南禅寺境内だった場所に築かれた約6千坪の庭園です。庭の水は琵琶湖から引かれ、落差30坪の滝となつて落ちる。滝にいたる傾斜は2000分の1。2段で1坪の差しかないほど緩やかなんです。すごい庭だったんです。

——取得した当時はどんな状況でしたか

川井 差し押さえられ、板塀で囲まれて何も見えない状態でした。最低限の整備はされていたが、「美」として価値を持つのはこげむす空間なのに、草木は枯れ、雑草がはえていました。

——それを蘇らせた

川井 まず2億円くらいかけて庭を整備しました。平成18年に取得し、3年かけて整備して米オラクル社の創業者、ラリー・エリソ

## かわいりのこ 川井徳子さん ノブレスグループ代表



何有荘で開かれた茶会に参加した川井徳子さん（右）。背景に見える滝の水は琵琶湖から引かれている  
—平成18年11月（川井さん提供）

# 建てたときの元の持ち主の思い どう受け止めるかが次につながる。

ンさんに買っていたたきました。

——現在はどんな状態ですか

川井 プライベートガーデンのため、一般公開はされていないんです。エリソンさんは、アメリカの自宅にも日本風の庭園をお持ちです。自分で米を作り、かやぶきの家もある日本ファンの方。日本美を愛し、高峰の庭を守り続けるために、買っていたたきましました。

——紅葉がそろそろ見頃なんですよね

川井 得も言われぬ別世

界。門を入ると数千坪の空間が人っ子一人いないぜいたくな空間になる。周辺は調整区域で何も建っていない。坪は6千坪だが、何万坪もの景観が独り占めできるんですよ。

——ほかにどんな物件を手掛けましたか

川井 平成16年に建てた奈良市の「メディカル学園前」というメディカルモールも手がけました。コンビニエンスストア、薬局、耳鼻咽喉科、メンタルクリニックが入っている。

——なぜ医療テナントビ

ルにしたのですか

川井 あの界限は病院が少ないんです。一方で塾がたくさんあり、教育熱心な地域でもあります。コンビニに入ってもらったのは、駅前から住宅地に向かうと、明かりが消えてしまつ、安心な町作りを考えたら、夜でも明るいコンビニがあ

## 新 関西笑談

ることはすごく大切だと思いました。建てたビルは、地域の方に愛されてこそ長生きするんです。

——物件を買い取るときに心掛けていることは

川井 元の所有者とトラブルにならないように、水面下でお会いすることもあります。前の方は、失敗したけど、それを建てられたときに、何らかの思いがあるはず。そういう気持ちをどう受け止めるかが、次のビジネスにつながる気がするんです。

——ホテルアジュール・奈良の場合、前の所有者と私は菩提寺が同じです。お墓も近い。所有者のご先祖さまから頼まれたような気もするんです。

——元の持ち主の気持ちを酌んで、川井さんのやり方で発展させていこうと

川井 そのことです。建物が残り続けることにすごく意味があると思う。だめになる建物もあるが、その場所にふさわしいものを建てる、そのものが価値を生み出し始める。それは建物が命を持つ瞬間だと思う。そんなことを考えながら仕事をしています。



聞き手 中島高幸